



# 高等教育の無償化へ

## 日本共産党③つの緊急提案

日本共産党は、6月5日に政策「高等教育の無償化へーただちに学費・奨学金返済を半額にし、計画的に無償化をすすめていく」を発表しました。

記者会見 movie ▶



提案

1

＼国公立も私立も／＼専門学校も／

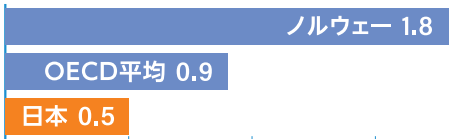
# ただちに学費半額そしてゼロへ 入学金ゼロ

高学費のために多くの学生がバイトや貸与奨学金”漬け”。岸田政権は学費値下げには一言もふれません。お金の心配なく学ぶことは、憲法に定められた権利です。

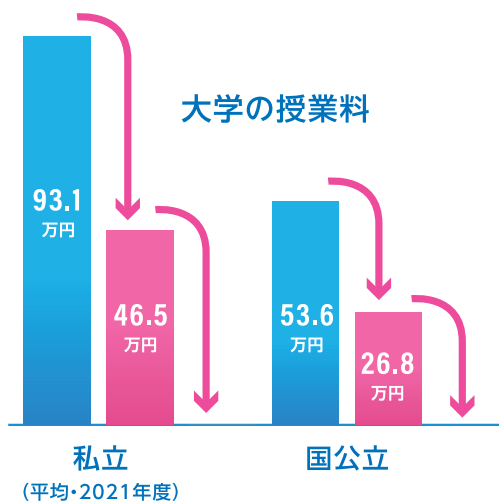
ただちに学費半額にし、無償化を計画的にすすめます。高額かつ、他の先進国にない入学金もゼロに。

DATA

先進国最低クラスの教育支出 (GDP比 %)



※高等教育機関への公財政支出(2019年) (出典)OECD「Education at a Glance2022」



提案

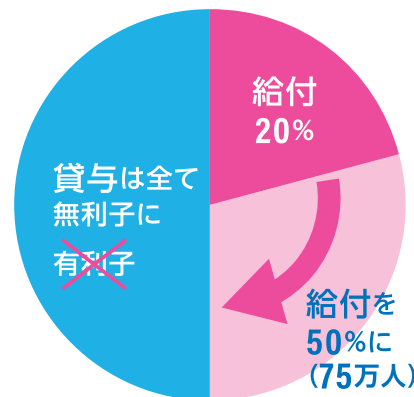
2

# 75万人の給付奨学金をつくる

奨学金を給付中心に改革!

自宅▶月4万円 自宅外▶月8万円 さらに拡充へ

奨学金は、学ぶ権利を保障するためのもので給付を基本とすべきです。現行の修学支援制度(給付奨学金・学費減免のセット)は条件が厳しく、対象は一部の学生のみ。75万人の本格的な給付奨学金をつくり、拡充します。



奨学金利用者 約150万人 ※2021年度

財源  
つくれます

## 大企業・富裕層に応分の負担で

提案①+②に必要な予算は、毎年2兆円程度です。

大企業や富裕層への優遇を改める税制改革や、歳出の浪費をなくすことで確保できます。





大学 短大 専門学校

提案

3

# 奨学金の返済を 半額カット

奨学金返済の影響は、「出産・子育て」で3割、「結婚」で4割弱、「日常的な食事」が4割強、「医療機関の受診」が3割強(労働者中央福祉協議会の調査)。高学費を借金にして若い世代に背負わせてきた政治の責任は重大です。

貸与総残高約10兆円の半分を国が拠出して減額します。一人ひとりの減額は半分为基本に、年収や残高におうじて不公平感が起きないようにします。

## 残った貸与奨学金は

- ▶すべてを無利子に
- ▶所得に応じた返済制度に切り替え

若い世代のしかかる  
約10兆円もの借金

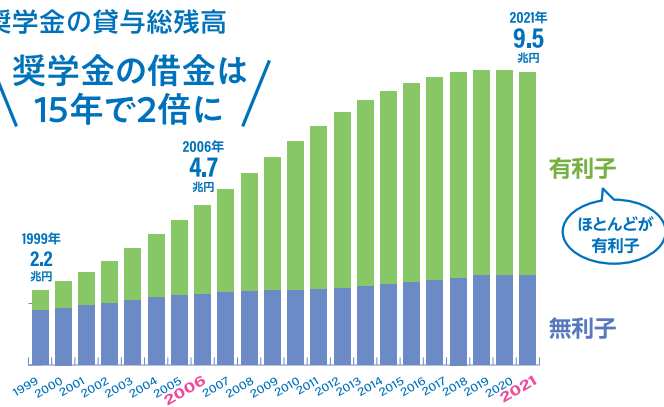


※貸与奨学金の総貸付残高(2021年度)

## DATA

### 奨学金の貸与総残高

奨学金の借金は  
15年で2倍に



※JASSO資料より作成  
※1999「きぼう21プラン奨学金」(第二種奨学金)が発足

5年で

財源  
つくれます

# 岸田政権の大軍拡 43兆円ではなく 若者の奨学金返済の軽減につかいます

Since 1922

## 日本共産党の推しポイント!

高等教育の無償化  
いっしょに  
実現しよう

### 無償化をずっと 求めてきた

「学費値下げを」——若者の声を議会で繰り返し取り上げ、国際人権規約の高等教育無償化条項の留保撤回を求めてきました(2012年 政府が撤回)。

### 奨学金は「給付が基本」と一貫して主張

若者の借金を増やす奨学金制度の改悪に立ち向かい、多くの学生が使える給付奨学金を強く訴えてきました。

### 財源の裏付けが しっかりしている

大企業・富裕層の優遇税制や、大軍拡予算に切り込めるのは、大企業、アメリカにモノがはいえる党だからです。

#比例は日本共産党

日本共産党を  
大きく伸ばしてください

いますぐ 応援

TikTok



Instagram



Youtube



JCPサポーター

